

せつこっこクラブ6月

「びじゅつかん なぞときバックヤードツアー」を開催しました

日 時 平成30年6月16日(土) 午後1時30分～3時30分
参加者 14名 (年長2名、小学1年生1名、小学2年生1名、小学3年生7名、小学4年生1名、小学6年生1名)
職 員 阿部 (学芸員)、長岡

美術館の裏側はどうなっているのでしょうか。普段は公開していない裏側（バックヤード）を今回の「せつこっこクラブ」では、謎解きをしながら巡るツアーを行いました。

最初にグループ分けのゲームをした後、なぞときブックを持ち3グループに分かれて出発しました。クイズの問題を見て自分なりの答えを考えたあと、受付や喫茶コーナーで答えを聞きます。

作品運搬用の大型エレベーターにも乗りました。エレベーターに乗ったのが一番楽しかった、という参加者も多かったようです。





普段は閉鎖している美術館の裏口から正面に回ってみたり、動く本棚を動かしてみる体験も行いました。そして今回は特別に収蔵庫の見学も行いました。ほこりや虫を念入りにはらって入ってもらった先には節子さんの作品が並んでいます。ふざけたり走ったりせず神妙な面持ちで収蔵庫を眺める子が多く、子どもたちなりにその重要性を理解して



もらえたようでした。

最後に常設展示室・土蔵展示室で絵探しのクイズを解きます。収蔵庫で厳重に保存されている絵を見たからか、走ったり作品に触れたりする子はおらず、どの子も作品を大切にしながら鑑賞できていました。それから最初の部屋にもどって今日の思い出を絵に描き、謎をといて浮かび上がってきたことば「せつこはどこにいる？」を皆で考えました。

入り口の銅像、館内の写真、ハイビジョンシアター内の映像、そして《自画像》。ツアーをしながら、子どもたちは沢山の節子さんを見つけたようです。今日の経験をぜひ保護者の方にもお話ししてね、そしてまた節子さんを探しにきてね、というお話をし、ワークショップを終わりました。（学芸員 阿部）